



2022年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月13日

上場会社名 株式会社 エービーシー・マート
 コード番号 2670 URL <https://www.abc-mart.co.jp/ir/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野口 実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小島 穰 TEL 03-3476-5452
 四半期報告書提出予定日 2021年10月14日 配当支払開始予定日 2021年11月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	121,301	18.7	14,306	67.5	14,764	60.7	10,463	88.8
2021年2月期第2四半期	102,152	27.1	8,538	66.3	9,190	64.4	5,542	68.0

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 14,056百万円 (115.8%) 2021年2月期第2四半期 6,513百万円 (56.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	126.77	
2021年2月期第2四半期	67.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	318,768	285,983	89.3	3,447.34
2021年2月期	317,832	278,943	87.3	3,363.55

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 284,540百万円 2021年2月期 277,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		85.00		85.00	170.00
2022年2月期		85.00			
2022年2月期(予想)				85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	254,600	15.6	30,400	55.8	31,200	46.6	20,950	9.0	253.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期2Q	82,539,646 株	2021年2月期	82,539,646 株
期末自己株式数	2022年2月期2Q	470 株	2021年2月期	470 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期2Q	82,539,176 株	2021年2月期2Q	82,539,176 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

決算データ資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年3月1日から2021年8月31日まで)における事業環境は、ワクチン接種等の対策は進行しているものの、国内外で新型コロナウイルス感染症の再拡大により度重なる緊急事態宣言等の発出があり経済活動の制限が続いております。消費環境におきましては、コロナ禍における巣ごもり消費から、新しい生活様式へ対応する動きがみられ、商業施設も時短等の制限はありますが、休業は減り、街中への人出も戻りつつあります。

シューズ業界におきましても、コロナ禍における新しいライフスタイルが定着しつつあります。商品動向としては、スニーカーを中心としたスポーツシューズやカジュアルシューズの販売が引き続き好調ではありますが、レジャーやアウトドアでも使える商品需要が拡大傾向にあります。オンライン販売においては、昨年の急拡大期と比較すると多少一服感が出ておりますが、靴をオンラインで購入することへのハードルは下がりつつあります。

このような状況下、当社グループは、デジタルコマースの強化、「GRAND STAGE」と複合業態店舗の拡大、スポーツシューズとスポーツアパレルを含めたライフスタイルカジュアルの拡充に対応してまいりました。出店につきましては、当四半期は国内外合わせて9店舗、上期で30店舗の新規出店を行うことができました。当四半期末における当社グループの店舗数は1,388店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、前年に比べ通常営業の店舗が大幅に増えたことから、売上高は前年同期比18.7%増の1,213億1百万円となりました。利益面につきましては、効率の良い店舗運営と経費の削減に努めたことから大きく改善し、営業利益は前年同期比67.5%増の143億6百万円、経常利益は前年同期比60.7%増の147億64百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比88.8%増の104億63百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

イ. 国内

販売戦略につきましては、若年層をターゲットとしたSNSによるデジタル広告の配信を積極的に行い、ブランドを基調としたトレンドアイテムの訴求に注力してまいりました。今年はファッションアイテムとしてのスポーツサンダルの需要が高く、また季節性やアウトドア等による目的買いが多かったことから、サンダルの売上が前年同期比3割増となりました。キッズシューズにつきましても、コロナ禍においても子供靴の需要は高い傾向にあるため、好調となりました。

IT戦略といたしましては、デジタルコマースを拡大していくためのデジタル基幹システムの構築を進めております。店頭、Eコマース、スマホアプリなどから、商品・在庫・顧客・ポイント・受注出荷といった一元化された情報にアクセスできるよう環境構築を行っております。必要な情報をリアルタイムで連携し、お客様がどのチャネルからでも的確な情報を得られるようにすることが目的です。システム面ではフロントシステムを軽量化することで将来開発に掛かる時間やコストの圧縮を図ります。このような取り組みを行うことで、リアル店舗とEコマースのよりシームレスな関係構築を目指してまいります。昨年には、ポイント、在庫情報の連携を、当四半期末までには、商品情報、顧客情報の連携を完了させました。

店舗展開につきましては、地方郊外のショッピングセンターを中心に21店舗の出店を行い、当四半期末時点における国内店舗数は1,043店舗となりました(閉店10店舗)。既存店におきましては、「GRAND STAGE」や「ABC-MART SPORTS」への業態変更と2バナー以上の複合業態への転換を伴う増床改装を積極的に進めてまいりました。当第2四半期連結累計期間においては、28店舗の改装を実施し、複合業態店舗は新店を含め18店舗出店の計45店舗となりました。

店舗の営業状況につきましては、昨年の同時期と比べ人出が増えたことや商業施設の休業体制が縮小となったことで、当四半期はほぼ全店で通常営業(時短営業含む。)することができましたが、新型コロナウイルス変異株の急拡大により旅行や帰省等の夏休み需要が低下したことが要因となり、客数が減少しました。当四半期の国内店舗の売上高増収率につきましては、全店で前年同期比3.7%減、既存店で前年同期比3.6%減となりました。上期の売上高につきましては、第1四半期の大幅な回復が寄与し、全店で前年同期比20.6%増、既存店で前年同期比5.6%増となりました。

これらの結果、国内における売上高は前年同期比20.7%増の848億96百万円、セグメント利益は前年同期比60.0%増の124億24百万円となりました。

ロ. 海外

海外の業績につきましては、今春以降、アジアを中心に新型コロナウイルス感染症の再拡大があり、再び外出規制が敷かれましたが、韓国においては売上高が前年同期比13.3%増の238億27百万円、台湾においては前年同期比2.8%増の35億52百万円、米国においては前年同期比21.6%増の94億30百万円となりました。なお、海外連結子会社はいずれも12月決算であります。

海外の店舗展開につきましては、主に韓国が出店抑制を行ったため、上期で韓国5店舗、台湾3店舗、米国1店舗計9店舗の新規出店となりました(閉店 韓国11店舗)。当四半期末(2021年6月30日現在)の海外店舗数は、韓国277店舗、台湾61店舗、米国7店舗、計345店舗となりました。

これらの結果、海外における売上高は前年同期比14.2%増の368億21百万円、セグメント利益は前年同期比150.3%増の18億55百万円となりました。

品目別販売実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (百万円)	前年同期比 (%)
スポーツ	60,537	71,267	17.7
レザーカジュアル	12,542	14,876	18.6
キッズ	7,674	9,872	28.6
サンダル	6,388	8,279	29.6
レディース	5,466	5,611	2.6
ビジネス	3,198	3,692	15.4
その他	6,345	7,701	21.4
売上高合計	102,152	121,301	18.7

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 上記金額は、国内及び海外の合計で表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億78百万円増加し、2,262億円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少41億67百万円及びたな卸資産の増加40億34百万円等によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、925億67百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ61億4百万円減少し、327億84百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少と未払法人税等及び未払消費税等の減少等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ70億40百万円増加し、2,859億83百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加34億47百万円、急激な円安による為替換算調整勘定の増加20億47百万円、及びその他有価証券評価差額金の増加14億20百万円がありました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ25億7百万円減少し、1,439億47百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は、46億19百万円の収入(前年同期比25億16百万円収入減)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益154億22百万円、減価償却費27億38百万円、仕入債務の減少額13億56百万円、及びたな卸資産の増加額31億4百万円等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は、9億89百万円の支出(前年同期比157億94百万円支出減)となりました。この主な要因は、新規出店及び店舗改装等に伴う有形固定資産の取得による支出33億8百万円、無形固定資産の取得による支出9億30百万円、投資有価証券の取得による支出10億17百万円、有形固定資産の売却による収入19億1百万円、及び投資有価証券の売却による収入23億58百万円等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は、68億93百万円の支出(前年同期比7億55百万円支出減)となりました。この主な要因は、配当金の支払による支出70億11百万円等を反映したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

下半期につきましては、各国とも依然として新型コロナウイルス感染症の再拡大や地政学的な影響による景気減速への懸念がありますが、ワクチン接種率の上昇や各種政策等により消費環境やマインドが改善されるものと予想します。

これらを踏まえ、販売戦略といたしましては、ブラックフライデーセールや年末年始の商戦に向け、テレビCMとデジタルを併用した販売促進により、国内需要を喚起する取組みを実施してまいります。商品展開では、引き続きスポーツシューズとスポーツアパレルの販売強化とライフスタイルカジュアルの提案に注力してまいります。

出店計画につきましては、通期で国内42店舗の出店となる見通しです。既存店につきましては、地方郊外へのグラウンドステージと複合業態店舗の拡大を進めてまいります。海外の出店につきましては、主に韓国において既存店のスクラップアンドビルドを図り、停滞する国内市場の活性化を図る計画です。

デジタルコマース戦略につきましては、デジタル基幹システムの受注出荷に係るシステム構築に着手しております。来春以降、受注出荷情報の連携を完了させて、お客様が店頭、Eコマース、スマホアプリなどから、商品・在庫・顧客・ポイント・受注出荷といった情報にリアルタイムでアクセスできる環境が整う予定です。

以上の見通しに基づき、2022年2月期の通期の業績を鑑みた結果、連結売上高は前期比15.6%増の2,546億円、営業利益は前期比55.8%増の304億円、経常利益は前期比46.6%増の312億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比9.0%増の209億50百万円を見込んでおります。

(ご参考)

① 連結通期予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想	259,700	30,400	31,100	20,930	253.58
今回修正予想	254,600	30,400	31,200	20,950	253.82
増減額	△5,100	-	+100	+20	+0.24
前期実績	220,267	19,513	21,283	19,226	232.94

② 個別通期予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想	177,600	27,000	28,080	18,740	227.04
今回修正予想	176,100	27,000	28,200	18,960	229.71
増減額	△1,500	-	+120	+220	+2.67
前期実績	151,909	16,828	19,043	18,611	225.49
当第2四半期累計期間実績	84,897	12,312	12,923	9,251	112.09

※業績予想に関する留意事項

上記の業績予想に関しましては、現時点で得られた情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	138,669	134,501
受取手形及び売掛金	10,275	10,029
有価証券	7,957	9,624
たな卸資産	63,356	67,390
その他	4,997	4,697
貸倒引当金	△34	△44
流動資産合計	225,222	226,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,283	34,493
減価償却累計額	△17,900	△18,545
建物及び構築物(純額)	15,382	15,947
工具、器具及び備品	16,091	16,909
減価償却累計額	△11,092	△12,232
工具、器具及び備品(純額)	4,998	4,676
土地	17,078	16,323
建設仮勘定	221	760
その他	457	461
減価償却累計額	△391	△400
その他(純額)	66	61
有形固定資産合計	37,748	37,769
無形固定資産		
商標権	740	580
のれん	1,199	885
その他	3,126	3,719
無形固定資産合計	5,066	5,185
投資その他の資産		
投資有価証券	17,161	17,729
関係会社株式	2,563	2,563
長期貸付金	1,495	1,452
敷金及び保証金	25,453	25,399
繰延税金資産	2,523	1,991
その他	613	492
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	49,795	49,612
固定資産合計	92,610	92,567
資産合計	317,832	318,768

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,468	13,057
短期借入金	1,232	1,356
未払法人税等	8,720	5,244
賞与引当金	996	1,010
引当金	237	174
資産除去債務	152	176
設備関係支払手形	782	1,409
その他	10,554	8,414
流動負債合計	37,145	30,843
固定負債		
退職給付に係る負債	552	758
資産除去債務	359	356
その他	831	826
固定負債合計	1,743	1,940
負債合計	38,888	32,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,972	19,972
資本剰余金	24,043	24,043
利益剰余金	224,811	228,259
自己株式	△2	△2
株主資本合計	268,825	272,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,229	3,650
為替換算調整勘定	6,569	8,616
その他の包括利益累計額合計	8,799	12,267
非支配株主持分	1,318	1,443
純資産合計	278,943	285,983
負債純資産合計	317,832	318,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	102,152	121,301
売上原価	50,563	58,329
売上総利益	51,589	62,971
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,709	1,875
広告宣伝費	2,782	3,079
保管費	1,548	1,442
役員報酬及び給料手当	11,300	12,827
賞与	378	387
賞与引当金繰入額	1,024	1,009
退職給付費用	251	446
法定福利及び厚生費	1,978	1,930
地代家賃	11,523	13,398
減価償却費	2,419	2,624
水道光熱費	962	992
支払手数料	2,802	3,435
租税公課	763	818
のれん償却額	388	385
その他	3,218	4,011
販売費及び一般管理費合計	43,050	48,665
営業利益	8,538	14,306
営業外収益		
受取利息	39	33
受取配当金	222	51
貸貸収入	469	525
為替差益	—	52
広告媒体収入	17	17
その他	240	109
営業外収益合計	988	789
営業外費用		
支払利息	2	18
為替差損	11	—
貸貸費用	219	283
その他	104	30
営業外費用合計	337	331
経常利益	9,190	14,764

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
特別利益		
固定資産売却益	1	801
投資有価証券売却益	—	74
新型コロナウイルス感染症による雇用調整助成金等	765	261
特別利益合計	767	1,137
特別損失		
固定資産除却損	56	102
減損損失	270	183
新型コロナウイルス感染症による損失	1,302	193
その他	16	—
特別損失合計	1,645	479
税金等調整前四半期純利益	8,312	15,422
法人税、住民税及び事業税	2,797	5,026
法人税等調整額	△76	△89
法人税等合計	2,720	4,936
四半期純利益	5,591	10,486
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,542	10,463

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	5,591	10,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,834	1,420
為替換算調整勘定	△1,912	2,149
その他の包括利益合計	921	3,569
四半期包括利益	6,513	14,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,464	13,931
非支配株主に係る四半期包括利益	48	124

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,312	15,422
減価償却費	2,503	2,738
賞与引当金の増減額(△は減少)	39	11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11	7
受取利息及び受取配当金	△262	△85
支払利息	2	18
為替差損益(△は益)	4	△3
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△74
固定資産除売却損益(△は益)	54	△698
減損損失	270	183
売上債権の増減額(△は増加)	1,034	976
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,879	△3,104
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,993	△1,356
その他	2,456	△1,209
小計	7,555	12,825
利息及び配当金の受取額	260	436
利息の支払額	△2	△18
法人税等の支払額	△677	△8,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,136	4,619
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△12,626	—
有形固定資産の取得による支出	△2,911	△3,308
有形固定資産の売却による収入	4	1,901
無形固定資産の取得による支出	△524	△930
投資有価証券の取得による支出	—	△1,017
投資有価証券の売却による収入	—	2,358
店舗撤去に伴う支出	△46	△128
貸付けによる支出	△100	△100
貸付金の回収による収入	184	44
敷金及び保証金の差入による支出	△1,039	△536
敷金及び保証金の回収による収入	373	806
その他の支出	△101	△102
その他の収入	3	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,783	△989
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△637	117
配当金の支払額	△7,011	△7,011
その他の支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,649	△6,893
現金及び現金同等物に係る換算差額	△353	755
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,650	△2,507
現金及び現金同等物の期首残高	149,173	146,454
現金及び現金同等物の四半期末残高	131,522	143,947

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	69,978	32,174	102,152	—	102,152
セグメント間の内部 売上高又は振替高	339	78	417	△417	—
計	70,317	32,252	102,570	△417	102,152
セグメント利益	7,764	741	8,505	33	8,538

(注)1 セグメント利益の調整額33百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	84,556	36,745	121,301	—	121,301
セグメント間の内部 売上高又は振替高	339	75	415	△415	—
計	84,896	36,821	121,717	△415	121,301
セグメント利益	12,424	1,855	14,279	27	14,306

(注)1 セグメント利益の調整額27百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2022年2月期 第2四半期 決算データ資料
(期間: 2021年3月1日~2021年8月31日)

1. 連結経営成績

(単位:百万円,%)

	2019年8月Q2期			2020年8月Q2期			2021年8月Q2期		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	140,158	100.0	5.5	102,152	100.0	▲27.1	121,301	100.0	18.7
売上総利益	74,767	53.3	4.0	51,589	50.5	▲31.0	62,971	51.9	22.1
販管費合計	49,443	35.3	4.6	43,050	42.1	▲12.9	48,665	40.1	13.0
広告宣伝費	2,816	2.0	▲1.1	2,782	2.7	▲1.2	3,079	2.5	10.7
人件費	17,397	12.4	6.6	15,030	14.7	▲13.6	16,677	13.7	11.0
地代家賃	13,820	9.9	▲1.5	11,453	11.2	▲17.1	13,331	11.0	16.4
減価償却費	2,380	1.7	9.6	2,414	2.4	1.4	2,614	2.2	8.3
その他	13,028	9.3	9.4	11,369	11.1	▲12.7	12,963	10.7	14.0
営業利益	25,324	18.1	2.7	8,538	8.4	▲66.3	14,306	11.8	67.5
経常利益	25,839	18.4	2.1	9,190	9.0	▲64.4	14,764	12.2	60.7
親会社株主に帰属する当期純利益	17,331	12.4	2.4	5,542	5.4	▲68.0	10,463	8.6	88.8
1株当たり当期純利益(円)	210.00	-	-	67.15	-	-	126.77	-	-
期中平均株式数(千株)	82,532	-	-	82,539	-	-	82,539	-	-

2. 単体経営成績

(単位:百万円,%)

	2019年8月Q2期			2020年8月Q2期			2021年8月Q2期		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	100,261	100.0	2.1	70,317	100.0	▲29.9	84,897	100.0	20.7
売上総利益	56,260	56.1	1.0	37,664	53.6	▲33.1	46,689	55.0	24.0
販管費合計	35,154	35.1	3.9	30,052	42.7	▲14.5	34,377	40.5	14.4
広告宣伝費	1,779	1.8	10.3	1,793	2.5	0.8	1,999	2.4	11.5
人件費	12,210	12.2	2.5	10,443	14.9	▲14.5	11,515	13.6	10.3
地代家賃	10,679	10.7	▲3.0	8,438	12.0	▲21.0	10,080	11.9	19.5
減価償却費	1,240	11.2	9.9	1,231	1.8	▲0.7	1,402	1.7	13.9
その他	9,244	9.2	13.0	8,144	11.6	▲11.9	9,378	11.0	15.2
営業利益	21,105	21.1	▲3.4	7,612	10.8	▲63.9	12,312	14.5	61.7
経常利益	21,753	21.7	▲4.0	8,447	12.0	▲61.2	12,923	15.2	53.0
当期純利益	14,491	14.5	▲4.5	5,170	7.4	▲64.3	9,251	10.9	78.9
1株当たり当期純利益(円)	175.59	-	-	62.64	-	-	112.09	-	-
期中平均株式数(千株)	82,532	-	-	82,539	-	-	82,539	-	-

3. 海外セグメント

(単位:百万円,%)

	2019年8月Q2期		2020年8月Q2期		2021年8月Q2期	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	39,968	16.0	32,252	▲19.3	36,821	14.2
セグメント利益	3,795	53.1	741	▲80.5	1,855	150.3
為替レート	3.55(円/INTD)、110.11(円/1USD)		3.61(円/INTD)、108.43(円/1USD)		3.84(円/INTD)、107.74(円/1USD)	

4. ABC-MART KOREA 経営成績(当期:2021年1月1日~2021年6月30日)

(単位:百万円,%)

	2019年6月Q2期			2020年6月Q2期			2021年6月Q2期		
	為替レート 9.66 (円/100WON)			為替レート 9.02 (円/100WON)			為替レート 9.66 (円/100WON)		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	27,562	100.0	12.8	21,038	100.0	▲23.7	23,827	100.0	13.3
売上総利益	13,414	48.7	10.9	9,375	44.6	▲30.1	11,307	47.5	20.6
販管費合計	9,981	36.2	4.2	8,715	41.4	▲12.7	9,541	40.0	9.5
営業利益	3,433	12.5	36.6	660	3.1	▲80.8	1,765	7.4	167.4

*1 ABC-MART KOREAは12月決算であります。

2022年2月期 第2四半期 決算データ資料
(期間: 2021年3月1日~2021年8月31日)

5. 国内状況

(単位:百万円,坪)

	2020年2月期			2021年2月期				2022年2月期	
	Q2期	Q3期	Q4期	Q1期	Q2期	Q3期	Q4期	Q1期	Q2期
在庫金額	44,498	48,866	45,203	48,009	44,821	45,117	41,137	43,779	41,678
売場面積 ※1	77,910	79,189	79,056	80,670	81,188	82,165	81,356	82,810	83,388

※1 四半期末月時点の面積

(単位:千DL)

	2020年2月期			2021年2月期				2022年2月期	
	Q2期	Q3期	Q4期	Q1期	Q2期	Q3期	Q4期	Q1期	Q2期
デジタル比率※2	7.7%	8.8%	8.6%	18.4%	11.3%	17.2%	13.5%	14.5%	13.3%
免税比率	5.2%	5.9%	6.5%	0.5%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
アプリDL(四半期ベース)※3	904	851	749	565	487	481	517	483	406
アプリDL(累計)	5,629	6,480	7,230	7,779	8,266	8,747	9,264	9,747	10,153

※2 ネット通販、ichock(店頭販売倉庫出荷)含む。

※3 アプリDLはアプリダウンロード数です。

6. 国内出店・閉店の状況

	前期末	2022年2月期		
		出店	閉店	Q2期
路面店	87	1	1	87
商業ビル	137	1	2	136
S C	567	17	6	578
N S C	85	0	0	85
ロードサイド	104	0	0	104
アウトレット等	52	2	1	53
計	1,032	21	10	1,043

7. 海外出店・閉店の状況

	前期末	2021年12月期		
		出店	閉店	Q2期
韓国	283	5	11	277
台湾	58	3	0	61
米国	6	1	0	7
計	347	9	11	345

*1 海外子会社各社は12月決算であります。

グループ計	1,379	30	21	1,388
-------	-------	----	----	-------

業態別店舗数

	前期末	2022年2月期			
		出店	閉店	改装店	Q2期
グランドステージ	30	2	0	10	42
プレミアステージ	20	0	0	▲1	19
メガステージ	24	0	0	▲2	22
ABCスポーツ	34	5	2	27	64
ABCマート(上記除く)	795	12	6	▲31	770
レディース業態	35	0	0	▲1	34
アウトレット業態	53	2	1	▲1	53
その他	41	0	1	▲1	39
計	1,032	21	10	0	1,043

※4 改装店にはMDのみの変更も含む。